



Innovational faction

新和会

大津市議会 OTSU SHINWA-KAI

議会だより

vol. **09**
2021.7
令和3年7月5日発行

FAX **077-521-1010**

TEL.077-528-2624
〒520-8575 滋賀県大津市御陵町3-1

ホーム
ページ



新和会 検索
otsu-shinwakai.com

幹事長就任挨拶

梅雨明けの待たれる今日この頃、市民の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は、新和会に對しまして、温かいご支援とご厚情を賜り、衷心より感謝申し上げます。さて、新和会は、1期の議員が5人、2期が3人、3期が3人、そして4期以上が2人となり、合計13人のバランスのとれた最大大会派へと成長いたしました。

会派内では、議案や請願、意見書等について活発に議論をしながら態度を決定すると共に、規約や視察先なども合議制の中で決めていきます。そのような会派運営をしながら、各議員、そして新和会がレベルアップしたいと考えております。

去る5月19日に行われました招集会議におきまして、我が会派から満票により桐田真人議員を議長に輩出することが出来ました。改めて各会派の皆様のご厚志にお礼を申し上げます。また、長期化するコロナ禍の中、6月通常会議が7月2日に閉会いたしました。感染防止対策の強化、生活支援、事業者等支援を柱とした補正予算を審議し、可決しました。今後も新型コロナウイルスワクチンの早期接種を最重要課題とし、市に對して訴えて参りたいと存じます。今後とも、新和会所属議員に對し、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新和会幹事長 津田新三

議長就任挨拶



望とともに成長し、大津に生まれ育つて良かったと実感してもらいたいと考えています。同時に私たちが生み、家庭や地域において育み、見守ってくださった父母や祖父母の世代の皆様や現役世代の皆様が大津に住み生活をしていて良かったと納得してくださる日常の実現を目指していきたいと考えています。

そして、コロナ禍の現在、市民の皆様が様々な困難に直面している中、34万大津市民、お一人おひとりに住み良い街大津を実感していただくためには、市民から負託を受けた市議会議員により構成される市議会が、市民の声や思いに寄り添い、多様化する要請や課題の解決をあらゆる手法を取り入れ共に進めていくことが肝要であると考えています。

私は、多様な世代と接点を持ち、各世代をうまくパイプ役であるという属性を、議長としても活かし、市民の皆様が市議会をより身近に感じ、さらに期待してくださるよう、格致日新、職責を果たして参る所存です。

市民の皆様、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

大津市議会議長 桐田真人



「新型コロナウイルスワクチン接種に関する緊急要望」を提出

多くの市民の関心が高い、新型コロナウイルスワクチン接種について、新和会としては執行部の負担軽減も考慮し質疑・一般質問ではなく、大津市長に「新型コロナウイルスワクチン接種に関する緊急要望」

- ① 接種体制の確保について
- ② 個別接種の拡充について
- ③ 事業所及びその他施設における接種の検討について
- ④ 巡回接種の推進について
- ⑤ 予約体制の拡充について
- ⑥ その他

☆詳細については、
新和会ホームページを
ご覧ください。



びわこ放送dボタンで
「広報おおつ」がご覧頂けます。

ワクチン接種等の情報をご確認ください。

質疑・一般質問

令和3年6月通常会議

※質問、答弁は一部抜粋です。詳しくは津市議会ホームページをご覧ください。

笠谷 洋佑



Q ワクチン接種予約支援について

インターネット予約等に対する各支所における相談支援体制及び、民生委員児童委員を通じた支援体制について見解を伺う。

A 各支所窓口においては、窓口業務の一環としてワクチン接種の相談に応じているところであり、今後も適切な相談対応ができるよう、支所と情報共有を図っていく。また、民生委員児童委員による日常の活動の中でのワクチン接種予約に係る支援は大変重要であると考えており、既に行われている有効な取り組み事例等について、市全体への共有に努めていく。

伴 孝昭



Q 大津祭曳山展示館の管理運営について

どのようなスケジュール感で有料化の検討を進められるのか、また施設運営の方向性についても見解を伺う。

A 有料化の検討については、令和5年度までに方針を決定する予定をしており、今年度は、大津祭の運営主体である大津祭曳山連盟や地域の方々との丁寧な協議の上で見直しの方向性を整理し、来年度中に一定の方向性を示す。また今後の年次的な改修については、今年度から来年度にかけて空調設備の更新に取り組み、他の設備についても、優先度を考慮して対応していく。また付加価値を高める工夫は、入館料検討と併せて、展示構成や演出など、展示の在り方等について関係者と議論していく。

井内 律子



Q おむつの廃棄を保育園で行い保護者の負担軽減を

市内の公立保育園では原則保護者が子どもの使用済みおむつを持ち帰ることになっているが、忙しく働く保護者の負担となっている。民間の保育園などでは園で廃棄する事例が多く、衛生的な観点からも園で適切に廃棄すべきであり、子育て中の保護者を応援する意味でも公立保育園におけるおむつは原則園で廃棄すべきでは。見解を伺う。

A 園でのおむつの廃棄は、臭いなど地域住民の迷惑にならないようにするための衛生的な管理方法などの課題はあるが、今後、公立保育園での実施について前向きに検討していく。

仲野 弘子



Q 今後の都市計画道路の計画策定に向けた取り組みは

平成21年の都市計画道路の大幅な見直し以降、いまだ整備されていない都市計画道路が存在するが、今後どのように検討を進めるのか、見解を伺う。

A 平成21年の見直し後における社会・経済情勢の変化や周辺広域幹線道路の整備など道路交通状況の変化、都市計画マスタープランや立地適正化計画の策定などを踏まえ、未整備の都市計画道路については、将来の人口推計や交通需要予測を考慮しながら、パブリックコメントでの意見を参考に、令和3年度から2か年かけて、都市計画道路網の見直し検討を進める。

神田 健次



Q 近江舞子沼の再生と利活用を

国民的資産として位置づけられる琵琶湖の内湖である近江舞子沼の現状と課題を踏まえた環境保全・再生と利活用の取り組みについて、市の見解を伺う。

A 環境保全を実施する地域住民をはじめ、内湖の保全や利活用に努める多くの関係者間で、協働した取り組みを進めていくことが課題であると認識している。内湖の保全・再生にむけて、滋賀県が策定した「内湖再生全体ビジョン」に基づく県の取り組みに市としても積極的に連携するとともに、利活用については、まずは地域の意向を聞きながら、県と民間事業者と共有していく。

細川 俊行



Q 学校改修時における県内産木材を活用した施設整備について

県内産木材を活用した施設整備の効果と方途について見解を伺う。

A 県内産木材を用いた学校施設整備や木製備品の導入による子どもへの効果は、木材は柔らかくて温かみのある感触を有しており、心地良さや安心感など、心理面における効果に加え、県内産木材を活用することで、地域の産業や森林の保全などについて学習するきっかけにもなると考えている。また、今後、実施予定である長寿命化改良工事において、例えば相談室の内装に使用する等、木材を効果的に活用することについて、財政状況を勘案した上で、学校の意向も確認しながら検討する。

西村 和典



Q 市街化区域内農地を保全するために生産緑地制度*の活用を

市街化区域にある農地の割合が年々減少している中、生産緑地制度の活用は固定資産税の負担軽減などにより市街化区域での営農の継続に効果が高いと認識している。本制度の本市での活用に向けた課題と市の見解を伺う。

A 本制度は農地などと調整を図りつつ良好な都市環境の形成に資することを目的としており、当該地区を定めるには公害防止に役立つなど農林漁業と調和した都市環境の効用を有するなどの条件がある。県内で本制度は導入されていないことから、今後も都市農地の多面的機能に着目し研究していく。

※「生産緑地制度」市街化区域内の農地を計画的に保全し、良好な都市環境の形成を図るため、都市計画に生産緑地地区を定める制度

河村 浩史



Q 「市民の声」と「市長への提言箱」について

「市民の声」と「市長への提言箱」に頂いた意見については、積極的な情報開示が必要では？ また、市長自らが直接市民の声を聞く取り組みを行う考えは？ 見解を伺う。

A 頂いた意見等を整理・分析し、その結果を「見える化」とともに、政策形成や業務改善に活用できるよう「広報の新たな仕組みづくり」に取り組んでいく。また、市政運営にあたって、多様化する課題に的確に対応するため、市民や事業者の皆様のご意見やご提案を直接、承ることは大変重要であると認識しており、今後多くの皆様と対話ができる取り組みを検討し、積極的に進めていく。

鳥井 義徳



Q 本市の交通安全の啓発と今後の対策について

本市の交通安全対策について、高齢者を加害者にも被害者にもさせない為の取り組みと園児に対する交通安全の啓発と対策を市として今後どのように実施するのか見解を伺う。

A 園児に対しては、交通安全カンガルー教室などを通じて基本的な交通ルールやマナーの指導を実施しており警察とも連携して取り組みを行っているところであり、高齢者に対しては、シルバー人材センターや老人福祉センター主催のイベントや出前講座を通して交通安全の周知に取り組んでいる。



新和会
YouTube
チャンネル

